

会 報

N P O 防 災 千 葉

Vol. 46

令和 7 年度通常総会報告

令和 7 年 9 月 発行

特定非営利活動法人 防災千葉

千葉市中央区本町 1-6-24 (渡辺コーポ 102 号)

E-mail bosai@bosai-tiba.jp

Homepage <http://www.bosai-tiba.jp>

Fax 0 4 3 - 3 0 1 - 3 8 2 0

■ 令和 7 年度通常総会を開催

特定非営利活動法人防災千葉は、令和 7 年 7 月 22 日プラザ菜の花において、62 名の会員の出席のもと、令和 7 年度通常総会を開催しました。この総会には県土整備部角田災害・建設業担当部長様をはじめ県土整備部幹部の皆様、及び千葉県建設技術センター長島理事長様に来賓としてご出席いただきました。



増岡理事長

開催にあたり、増岡理事長から「当 NPO の昨年度 1 年間の諸活動につきましては、総会で承認をいただいたすべての事業計画について、滞りなく実施することができました。会員皆様のご支援・ご協力のおかげと厚く感謝申し上げます。振り返りますと、昨年はあるくパトロール、県土整備部の震災対策訓練への参加、そして土木遺産調査伝承事業については、1 年ぶりに千葉県建設技術協会さんと共同開催で、安房地域の歴史的建造物である石積 3 径間連続アーチ橋の長尾めがね橋など、土木技術の伝承といった見地から、現職の皆さんと共に見聞してまいりました。

年が明けて 1 月に開催した防災関係技術研修会では、能登半島地震の教訓、どう生かすかをテーマとして研修を行い、6 月の災害防止月間では、行政の皆さんと一緒に土砂災害警戒区域等の点検を行いました。年々広域化し、増加に向かう災害リスクを減らす上でも、県及び地元行政と連携し協働で取り組む点検業務は、災害予防の観点からますます意義のある活動の一つとなっていくものではないかと考えております。また、当 NPO も今年で 27 年目を迎え、時の経過とともに会員も年齢を重ね、本活動を支えていただく実働会員の減少が顕著になってきております。このため、会員の確保が難しい地域での活動のあり方や現在休止している収益事業の今後の取り扱いなど、いくつか組織運営上の課題も残されております。先ずは、現状を踏まえた当面の対応方針を定め、今後、新規会員が継続的に入会し実働会員が増加に転じた場合を見据えた将来の対応方針についても、引き続き皆様のご意見をお聞きしながら位置づけていきたいと考えております。」との話がありました。



角田県土整備部災害・建設業担当部長

来賓を代表し、県土整備部角田災害・建設業担当部長様からは、「近年、頻発する集中豪雨や台風の強大化などにより、風水害や土砂災害が増加し、被害も激甚化する傾向にあります。7 月に本県に接近した台風 5 号は、幸いにも大きな被害はありませんでしたが、関東甲信の 9 都県 55 か所で記録的短時間大雨情報が発表され、雨雲の発生状況によっては、いつ千葉県で発表されてもおかしくない状況となっております。

これから、本格的な台風シーズンを迎えるに当たり、県では防災対策を強化しております。具体的には、河川改修や土砂災害防止施設の整備を着実に進めるとともに、流域治水の推進や、今年度末までに約 1 万か所の土砂災害警戒区域等の指定を新に行う予定です。また、排水ポンプ操作講習会の実施など、ハードとソフトの両面から一体となった取り組みを進めております。

地震についても、最近、鹿児島県のトカラ列島において群発地震のニュースをテレビ等で目にすると思いますが、本県では能登半島地震の被害状況を踏まえ、昨年 9 月には建設業協会など関係事業者の協力のもと、道路啓開計画を策定・公表するとともに、緊急点検で対策を必要とした道路法面について、測量や地質調査を実施しており、早期の着工を目指しています。先の通常国会で成立した改正道路法で、道路啓開計画の策定が法定化されたことから、今後、関係機関と連携した訓練を実施するなど、災害への対応力の強化を図ってまいります。

また、災害に強く良質な社会インフラの整備を進めることは、地域の安全と発展を支える基盤となり、この重要な取り組みを進めていく中で、皆様には引き続きご協力とご尽力を賜りますようお願いいたします。」とのご挨拶がありました。



木邊理事

本年6月10日に開催された砂防ボランティア全国のつどいにおいて、木邊理事長が、「砂防ボランティア活動等功労者表彰」を受賞されたことが報告されました。木邊様は、入会以来14年の長きにわたり、総務部長を6年、そして令和3年から現在まで理事を歴任され、その間、東日本大震災に伴う支援活動への参加、その災害の記憶を継承していくための出前授業の創設と運営に尽力、橋梁点検等の収益事業への従事、当法人の運営事務に関する業務など様々な功績が高く評価されました。氏からは「社会貢献出来るのではと思い入会し、総務部に配属され、関係する方々の協力を得て会の運営に努めてまいりました。今後も微力ながらお手伝いさせていただければ」とお礼の挨拶がありました。

議事は令和6年度の事業報告、収支決算及び令和7年度の事業計画（案）、役員の選任（案）の5議案がすべて承認されました。

■ 令和6年度事業報告（R6.7.1～R7.6.30）

令和7年度通常総会で承認された令和6年度の「事業報告」は下記のとおりです。
（令和7年度の「事業計画」は4ページに記載しています。）

通常総会	令和6年7月16日 プラザ菜の花にて開催。 出席者207名（内訳：本人出席74名、書面表決13名、表決委任120名）。 令和5年度事業報告及び収支決算報告、令和6年度事業計画（案）、 収支予算（案）及び役員の選任（案）を承認。
理事会・事務局会議	理事会1回、事務局会議を3回開催。
砂防ボランティア全国のつどい	令和7年6月10日 宮城県 仙台サンプラザにおいて開催され、1名出席。 ※出席者の木邊理事長が、「砂防ボランティア活動等功労者表彰」を受賞。
防災訓練	令和6年11月13日 県土整備部震災訓練に参加。（14土木事務所管内） 県と締結している「災害時における業務協力に関する協定」に基づき、県管理施設に係る情報伝達訓練等に当NPOから延べ53名が参加。
防災関係建設技術研修会	令和7年1月22日 プラザ菜の花にて、全国治水砂防協会千葉県支部、千葉県河川協会、道路協会、NPO防災千葉による共同開催。 【激甚化する災害への対応】 1 能登半島地震、先遣隊として現地入りして得たこと、感じたこと （千葉県農林水産部 生産流通戦略担当部長 座間勝美 様 ※鳥インフルエンザ対応のため、防災危機管理部 消防課長 高岡恭子 様による代理講演） 2 千葉県道路啓開計画の策定について （県土整備部 道路環境課長 花岡信明 様） 参加者数91名（うちNPO防災千葉35名）
土木遺産調査伝承	令和6年10月26日 千葉県建設技術協会と共同開催。 視察箇所：安房地域の長尾めがね橋、野島埼灯台、海底地滑り堆積層。 参加者数：46名（うちNPO防災千葉6名）
会報の発行	会報（44～45号）を会員および県の関係機関、外郭団体等に配布。 44号（令和6年9月発行）700部、45号（令和7年3月発行）700部。
あるくパトロール	令和6年10月～11月 障害物等の点検・改善と正しい利用を指導するパトロールに参加。（参加者数：39名 全土木事務所）
土砂災害警戒区域等点検	令和7年6月～7月 県、市町村の防災担当者等と協働で実施。 （点検箇所619箇所 参加者数：71名 全土木事務所）

■ 水防訓練への参加

出水期を迎えるにあたり、各土木事務所で水防訓練が行われ、令和7年5月26日には夷隅地域の水防訓練が、いすみ市文化とスポーツの森サブグラウンドで行われました。

出席者は、河川協会夷隅支部長の勝浦市長、道路協会夷隅支部長のいすみ市長を始め、大多喜町長、御宿町長、建設業協会夷隅支部、及び警察署、消防署などから総勢101名が参加し、当NPOからは市川慎一相談役をはじめ11名が参加しました。



夷隅地域水防訓練



月の輪工法

■ 土砂災害危険箇所点検への参加

土砂災害防止月間（6月）に土木事務所・市町村等が協働で実施する「土砂災害警戒区域等の点検（通称がけ点検）」に当NPOでも積極的に取り組み、助言を行うなど協力しています。

実施機関：全土木事務所

参加者数：71名（県・市町村等の防災担当者等を含め総勢521名）

点検箇所：619箇所



がけ点検状況（鴨川市）



がけ点検状況（松戸市）

■ NPO防災千葉の組織（令和7年7月25日現在）

役員				相談役		
理 事 長	増岡 洋一	理 事	木邊 實 塩屋 龍一郎 滝浪 善裕	市川 慎一 佐藤 正芳		
副理事長	渡邊 芳敏 土屋 謙					
		監 事	松田 善典 五十嵐 隆夫			
事務局員						
事務局長	根本 嘉生	事務局次長	山口 浩			
	総務部	企画部	事業部	広報部	会計	
部長	米良 信雄	柴田 利雄	元吉 博保	山本 篤	江澤 和夫 堀越 宏喜	
部員	木邊 實 御園生 孝 吉田 良治 大村 晃	中橋 正 石井 光男 山口 浩 長谷川 真澄 岩船 保 竹内 亀代司 秋葉 伸一	村相 紀雄 橋本 大義 神作 秀雄 町田 英之 吉野 利秋	水垣 浩 日野 泰宏 成田 昭也 麻生 雅通 神田 成人		
	地域幹事・副地域幹事					
	地域名	地域幹事	副地域幹事	地域名	地域幹事	副地域幹事
	千葉	鳥海 浩	成田 昭也	海匝	大湊 一文	渡辺 幸男
	葛南	柴田 利雄	神作 秀雄	山武	橋本 大義	町田 英之
東葛飾	根本 嘉生	石井 直樹	長生	鵜沢 覚	米良 信雄	
柏	伊藤 洋二	一松 政夫	夷隅	石井 光男	吉野 利秋	
印旛	岩船 保	竹内 亀代司	安房	平野 秀明	平林 俊夫	
成田	前田 善信	松木 久男	君津	村岡 春雄	長谷川 真澄	
香取	秋葉 伸一	秋山 文男	市原	山本 篤	水垣 浩	
銚子	實川 常博	御園 直樹				

■ 令和7年度 事業計画

1. 砂防ボランティア全国連絡協議会に参加（令和7年11月、令和8年5月）
2. 砂防ボランティア全国のつどいへの参加（令和8年6月頃）
3. 講師の派遣 要請に応じ講師を派遣
4. 防災訓練 県土整備部震災対策訓練に参加予定（令和7年9月2日）
5. 防災関係建設技術研修会の開催（令和8年1月頃 プラザ菜の花）
6. 土木遺産調査伝承（令和7年10月頃）
7. 会報の発行（第46号（9月）700部、47号（3月）700部）
8. あるくパトロール（令和7年10月～11月）
9. 土砂災害警戒区域等点検（令和8年6月頃 全土木事務所）

■ 会員の動向

令和7年度入会者数
3名

令和7年度会員数
（7月1日現在）
208名

賛助会員
全国治水砂防協会
千葉県支部